



# 2025年3月期 第3四半期決算報告

---

2025年2月6日

1. 2025年3月期 第3四半期決算報告

2. 2025年3月期 通期見通し

# 2025年3月期 Q3：ポイント

## Q3累計実績 (前年比)

- **売上収益** : **5,126億円** (前年比 ▲163億円)
- **営業利益** : **81億円** (前年比 ▲263億円)
- **当期利益\*** : **62億円** (前年比 ▲187億円)

- 売上収益は、映像事業やFPD装置事業で販売が増加したものの、精機事業やコンポーネント事業の半導体関連ビジネスの販売減少により、減収
- 営業利益は、精機事業やコンポーネント事業の半導体関連ビジネスの減収による減益に加え、本社移転に伴う一時費用により、減益

## Q3実績 (前年比)

- **売上収益** : **1,799億円** (前年比 ▲178億円)
- **営業利益** : **23億円** (前年比 ▲185億円)
- **当期利益\*** : **33億円** (前年比 ▲118億円)

- 売上収益は、精機事業やコンポーネント事業の半導体関連ビジネスの販売減少により、減収
- 営業利益は、精機事業やコンポーネント事業の半導体関連ビジネスの減収による減益、前年販売した10.5世代FPD露光装置の剥落による減益に加え、インダストリアルソリューションズ事業（旧産業機器事業）の構造改革費用や拠点再編に伴う遊休資産の減損損失等の一時費用（21億円）により、減益

注：本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨て

\* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

# 2025年3月期 Q3累計：財務ハイライト

単位：億円	24年3月期	25年3月期	前年比	
	Q3累計実績	Q3累計実績	増減額	増減率
売上収益	5,289	<b>5,126</b>	▲163	▲3.1%
営業利益	344	<b>81</b>	▲263	▲76.4%
営業利益率	6.5%	<b>1.6%</b>	▲4.9P	
税引前利益	362	<b>108</b>	▲254	▲70.0%
税引前利益率	6.8%	<b>2.1%</b>	▲4.7P	
当期利益*	249	<b>62</b>	▲187	▲74.9%
当期利益率	4.7%	<b>1.2%</b>	▲3.5P	
FCF	▲22	<b>▲114</b>	▲92	-
為替：USDドル	143円	<b>153円</b>	売上収益への影響 + 202	
ユーロ	155円	<b>165円</b>	営業利益への影響 + 50	

Q3累計で400億円近い営業CFを創出も、投資CFではRED社買収・本社移転に関わる支出があり、FCFはマイナス

\* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

# 2025年3月期 Q3累計：セグメント別業績

単位：億円

		24年3月期	25年3月期	前年比	
		Q3累計実績	Q3累計実績	増減額	増減率
映像事業	売上収益	2,219	<b>2,356</b>	+137	+6.2%
	営業利益	429	<b>438</b>	+9	+2.0%
	営業利益率	19.4%	18.6%	▲0.8P	
精機事業	売上収益	1,545	<b>1,249</b>	▲296	▲19.1%
	営業利益	111	<b>▲6</b>	▲117	▲106.3%
	営業利益率	7.2%	▲0.6%	▲7.8P	
ヘルスケア事業	売上収益	768	<b>815</b>	+47	+6.2%
	営業利益	29	<b>21</b>	▲8	▲25.2%
	営業利益率	3.8%	2.7%	▲1.1P	
コンポーネント事業	売上収益	593	<b>490</b>	▲103	▲17.3%
	営業利益	107	<b>36</b>	▲71	▲66.2%
	営業利益率	18.2%	7.4%	▲10.8P	
デジタルマニュファクチャリング事業	売上収益	139	<b>182</b>	+43	+31.3%
	営業利益	▲119	<b>▲102</b>	+17	-
	営業利益率	▲85.7%	▲55.8%	+29.9P	
その他（含、全社費用等）	売上収益	23	<b>31</b>	+8	+34.5%
	営業利益	▲214	<b>▲306</b>	▲92	-
連結	売上収益	5,289	<b>5,126</b>	▲163	▲3.1%
	営業利益	344	<b>81</b>	▲263	▲76.4%
	営業利益率	6.5%	1.6%	▲4.9P	

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

# 2025年3月期 Q3：映像事業

	24年3月期		25年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
単位：億円						
売上収益	843	2,219	839	2,356	▲4	+137
営業利益	177	429	150	438	▲27	+9
営業利益率	21.1%	19.4%	17.9%	18.6%	▲3.2P	▲0.8P
レンズ交換式 デジタルカメラ	25万台	64万台	26万台	67万台	+1万台	+3万台
交換レンズ	37万本	98万本	37万本	102万本	±0万本	+4万本

- **前年比（Q3累計）**：レンズ交換式デジタルカメラと交換レンズは新製品Z6IIIやZ50IIを中心に販売が増加。円安効果もあり増収増益

# 2025年3月期 Q3：精機事業

	24年3月期		25年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
単位：億円						
売上収益	585	1,545	434	1,249	▲151	▲296
営業利益	79	111	▲15	▲6	▲94	▲117
営業利益率	13.5%	7.2%	▲3.8%	▲0.6%	▲17.3P	▲7.8P
FPD露光装置	7台	11台	10台	26台	+3台	+15台
半導体露光装置 新品／中古	11/1台	22/4台	2/0台	6/6台	▲9/▲1台	▲16/+2台

- **前年比（Q3累計）**：FPD装置事業は高精細パネル向け装置の販売台数が増加した一方、半導体装置事業は新品装置の販売が減少し、精機事業全体では減収減益。計画比では、一部の半導体露光装置の据付完了がQ3からQ4へ繰延

# 2025年3月期 Q3：ヘルスケア事業

単位：億円	24年3月期		25年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	256	768	264	815	+8	+47
営業利益	2	29	8	21	+6	▲8
営業利益率	0.6%	3.8%	3.3%	2.7%	+2.7P	▲1.1P

- 前年比（Q3累計）**：ライフサイエンスの欧米・中国で市況停滞による販売減があったものの、アイケアは主に欧米で販売が伸び、事業全体では増収。営業利益はライフサイエンスの販売減と先行投資の増加もあり減益。計画比では、一時的な物流混乱もあり、一部製品の販売がQ3からQ4へ繰延



# 2025年3月期 Q3 : コンポーネント事業

単位 : 億円	24年3月期		25年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	227	593	<b>186</b>	<b>490</b>	▲41	▲103
営業利益	56	107	<b>22</b>	<b>36</b>	▲34	▲71
営業利益率	25.0%	18.2%	<b>11.7%</b>	<b>7.4%</b>	▲13.3P	▲10.8P

- **前年比（Q3累計）** : 市況の回復遅れによるEUV関連コンポーネントやエンコーダの販売減少、  
インダストリアルソリューションズ事業（旧産業機器事業）の構造改革による一時費用発生により、減収減益

# 2025年3月期 Q3：デジタルマニュファクチャリング事業

単位：億円	24年3月期		25年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	57	139	65	182	+8	+43
営業利益	▲32	▲119	▲38	▲102	▲6	+17
営業利益率	▲56.3%	▲85.7%	▲57.5%	▲55.8%	▲1.2P	+29.9P

- 前年比（Q3累計）**：SLM社の大型金属3Dプリンター（NXGシリーズ）の好調な販売により増収。営業利益は、増収効果や前年の一時費用の剥落が寄与し、赤字幅縮小

1. 2025年3月期 第3四半期決算報告

2. 2025年3月期 通期見通し

# 2025年3月期 通期見通し：ポイント

## 売上収益

- **全社見通し 7,200億円**（前回予想から50億円下方修正）
  - コンポーネント事業で、半導体やFA市況の回復遅れによるEUV関連コンポーネントや光学部品・光学コンポーネント、エンコーダの販売下振れ

## 営業利益

- **全社見通し 190億円**（前回予想から30億円下方修正）
  - コンポーネント事業で、売上収益の修正を反映

## 当期利益\*

- **全社見通し 160億円**（前回予想据え置き）
  - 外貨建て有価証券の評価額が為替換算により改善し、当期利益は据え置き

## 株主還元

- **期末配当金30円、年間配当金55円**（前回予想据え置き）
- **自己株式の取得：300億円（上限）を予定通り実施中（1月末時点累計取得額193億円）**  
取得期間 2024年11月8日～2025年3月24日
- **自己株式の消却：上記により取得した自己株式の全株式を2025年3月31日に消却予定**

## 為替前提

- **USD 151円、ユーロ 162円**（Q4前提は、USD 145円、ユーロ 155円と前回予想据え置き）

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2025年3月期 通期見通し：財務ハイライト

単位：億円	24年3月期 実績	前回予想 (11/7)	今回予想 (2/6)	前年比	前回予想比
売上収益	7,172	7,250	<b>7,200</b>	+28	▲50
営業利益	397	220	<b>190</b>	▲207	▲30
営業利益率	5.5%	3.0%	<b>2.6%</b>	▲2.9P	▲0.4P
税引前利益	426	220	<b>220</b>	▲206	±0
税引前利益率	5.9%	3.0%	<b>3.1%</b>	▲2.8P	+0.1P
当期利益*	325	160	<b>160</b>	▲165	±0
当期利益率	4.5%	2.2%	<b>2.2%</b>	▲2.3P	±0.0P
ROE	5.0%	2.4%	<b>2.4%</b>	▲2.6P	±0P
EPS	94.03円	46.17円	<b>46.63円</b>	▲47.40円	+0.46円
年間配当	50円	55円	<b>55円</b>	+5円	±0円
為替：USD	145円	149円	<b>151円</b>	売上収益への予想影響	
				+178	+55
ユーロ	157円	161円	<b>162円</b>	営業利益への予想影響	
				+45	+6

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

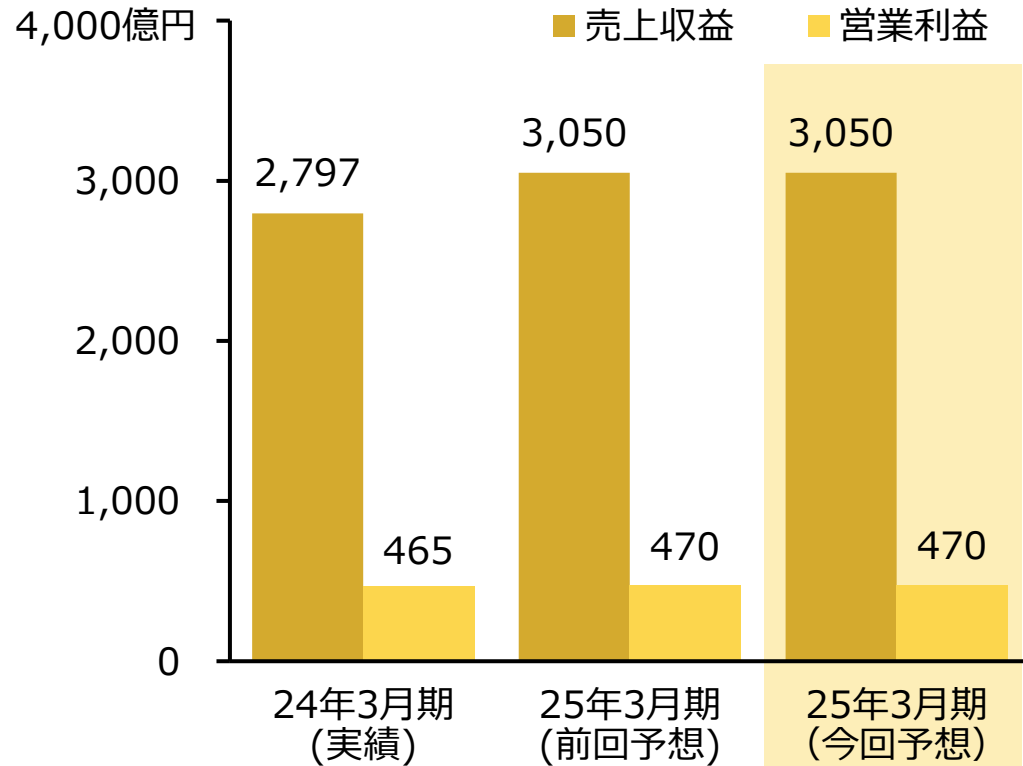
注：予想EPSの前提となる発行済株式数：前回予想約346.6百万株、今回予想約343.1百万株

# 2025年3月期 通期見通し：セグメント別見通し

単位：億円		24年3月期実績	前回予想（11/7）	今回予想（2/6）	前年比	前回予想比
映像事業	売上収益	2,797	3,050	<b>3,050</b>	+253	±0
	営業利益	465	470	<b>470</b>	+5	±0
	営業利益率	16.6%	15.4%	<b>15.4%</b>	▲1.2P	±0.0P
精機事業	売上収益	2,193	1,950	<b>1,950</b>	▲243	±0
	営業利益	151	90	<b>90</b>	▲61	±0
	営業利益率	6.9%	4.6%	<b>4.6%</b>	▲2.3P	±0.0P
ヘルスケア事業	売上収益	1,078	1,150	<b>1,150</b>	+72	±0
	営業利益	53	80	<b>80</b>	+27	±0
	営業利益率	5.0%	7.0%	<b>7.0%</b>	+2.0P	±0.0P
コンポーネント事業	売上収益	859	780	<b>730</b>	▲129	▲50
	営業利益	151	80	<b>50</b>	▲101	▲30
	営業利益率	17.6%	10.3%	<b>6.8%</b>	▲10.8P	▲3.5P
デジタル マニュファクチャリング事業	売上収益	210	280	<b>280</b>	+70	±0
	営業利益	▲140	▲95	<b>▲95</b>	+45	±0
	営業利益率	▲67.1%	▲33.9%	<b>▲33.9%</b>	+33.2P	±0.0P
その他 (含、全社費用等)	売上収益	32	40	<b>40</b>	+8	±0
	営業利益	▲283	▲405	<b>▲405</b>	▲122	±0
連結	売上収益	7,172	7,250	<b>7,200</b>	+28	▲50
	営業利益	397	220	<b>190</b>	▲207	▲30
	営業利益率	5.5%	3.0%	<b>2.6%</b>	▲2.9P	▲0.4P

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

# 2025年3月期 通期見通し：映像事業



## ● 売上収益：前回予想据え置き（前年比 +253億円）

- レンズ交換式デジタルカメラ市場は拡大
- Z9の先進技術を活用した新製品（Z6IIIやZ50II）の投入によるラインアップ拡充により売上収益・販売台数ともに順調に拡大
- 中国における市中在庫過多の懸念はあるものの、前回予想を据え置く

## ● 営業利益：前回予想据え置き（前年比 +5億円）

- 前年比では、レンズ交換式デジタルカメラおよび交換レンズの販売台数の増加や円安効果により増益を見込む

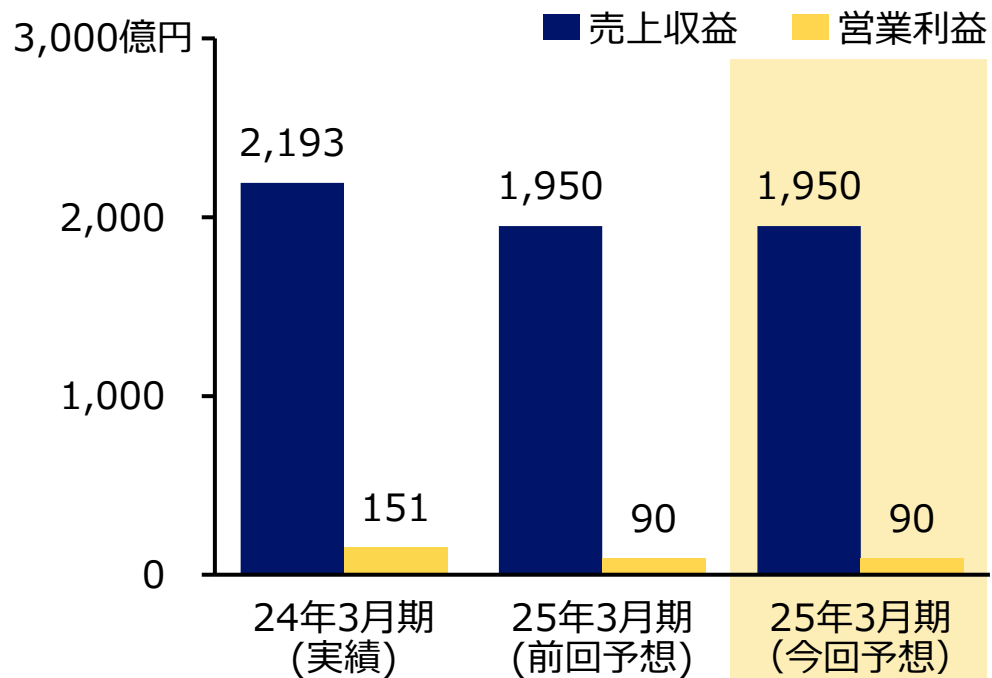
### レンズ交換式デジタルカメラ（万台）

市場規模	620	610	640
ニコン	80	85	85

### 交換レンズ（万本）

市場規模	987	960	1,000
ニコン	125	135	135

# 2025年3月期 通期見通し：精機事業



## ● 売上収益：前回予想据え置き（前年比 ▲243億円）

- 前年比では、高精細パネル向けFPD露光装置の大幅な販売増加を見込む一方、ArF露光装置の販売減少を補いきれず、精機事業全体では減収

## ● 営業利益：前回予想据え置き（前年比 ▲61億円）

- 前年比では、減収に伴い減益

### FPD露光装置販売台数（台）

市場規模 (CY23/24)	46	60	58
ニコン	16	38	38

### 半導体露光装置販売台数（新品／中古、台）


市場規模 (CY23/24)	520	600	600
ニコン	31/15	18/10	18/10

注：25年3月期より、CY24半導体露光装置の市場規模には、200ミリ以下対応の露光機を新たに含める



# 精機事業：半導体向け新プラットフォームArF液浸露光装置シリーズの開発

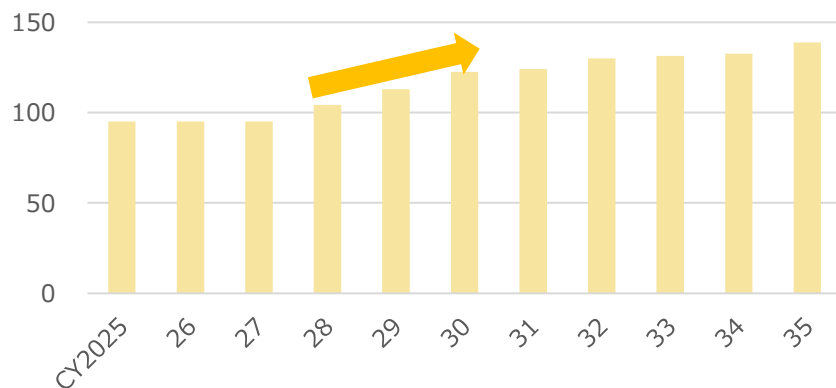
半導体メーカーのリソグラフィ工程における利便性を考慮し、他社ArF液浸露光装置との互換性を追求した新プラットフォームArF液浸露光装置を、主要半導体メーカーと共同で開発

Technology	Product	2028	2029	2030
ArF Immersion Resolution $\leq 38$ nm	 <p><b>S6XX NA1.35</b> ArF immersion Scanner New platform</p>	S6xx		

※イメージ図

特徴：①小型プラットフォーム ②新投影レンズ ③新ウェハーステージ

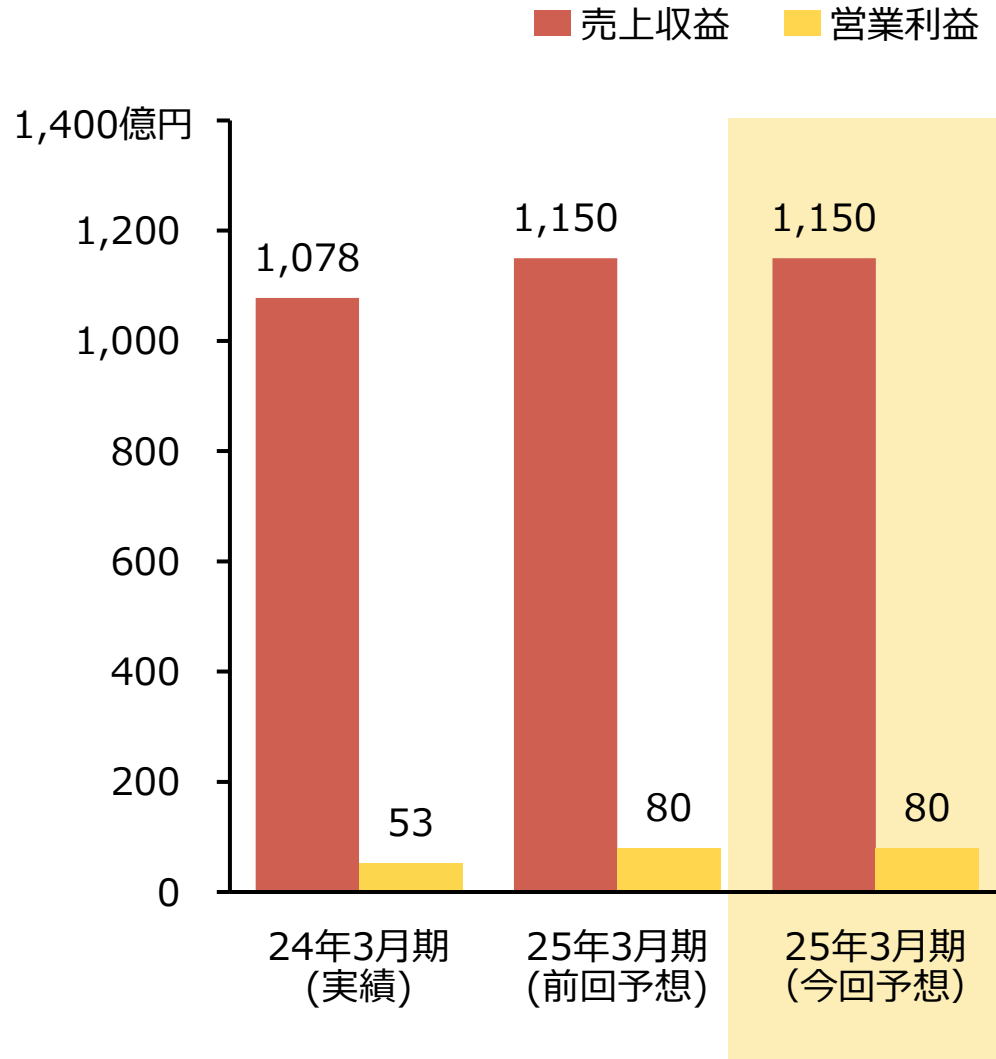
台数 ArF液浸露光装置のTAM※予想 ※ Total Addressable Market



- ✓ 2028年以降、DRAM・ロジックの3D化に伴いArF液浸レイヤー増加
- ✓ 拡大が続くArF液浸露光装置市場において大幅なシェア向上を狙う
- ✓ 2030年以降に、後継機種の開発を計画

高い生産性と信頼性を両立した次世代シリーズのプロトタイプを2028年度に主要半導体メーカーへ納入予定

# 2025年3月期 通期見通し：ヘルスケア事業



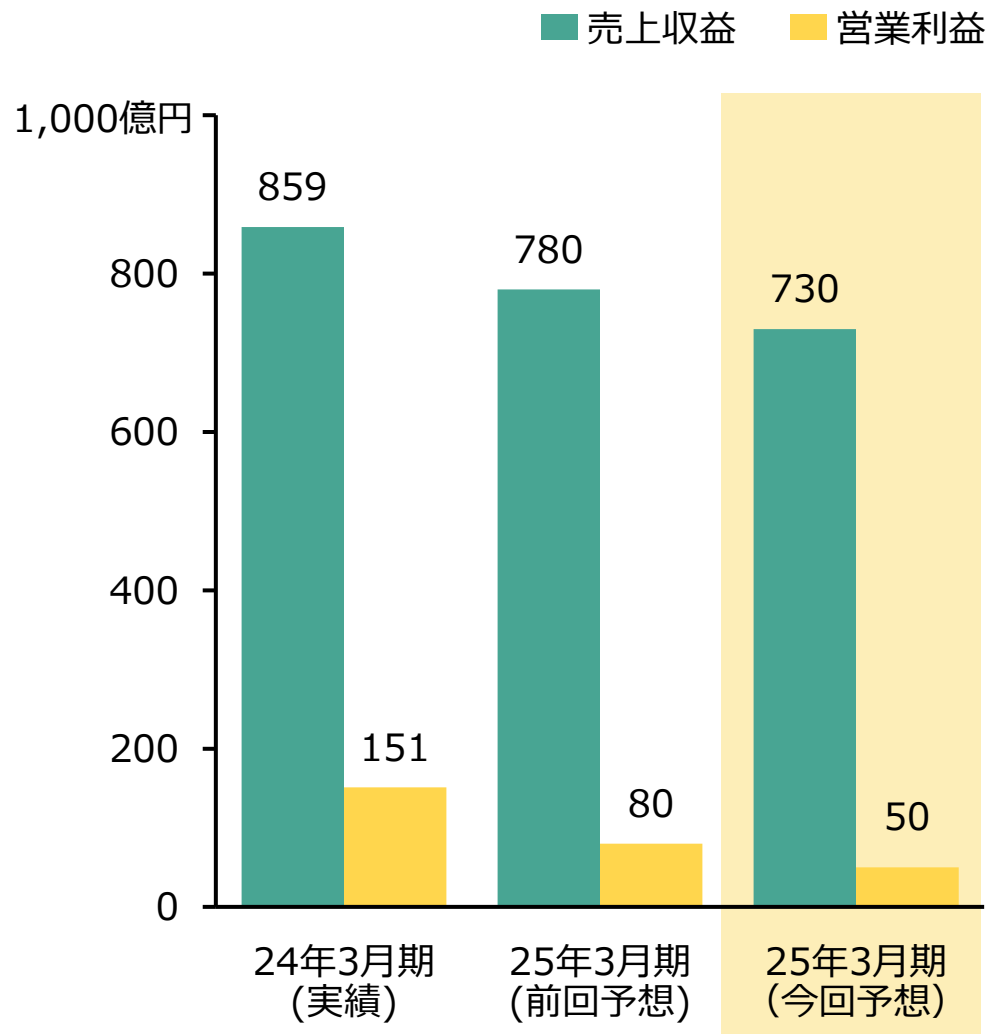
## ● 売上収益：前回予想据え置き（前年比 +72億円）

- ライフサイエンスは、米国の金利高止まりと中国の景気悪化の影響が懸念されるものの、民間市場の開拓、創薬支援分野の強化により計画達成を目指す
- アイケアは、欧米での検眼医・大型チェーン向け需要により、前年比増収を見込む
- 細胞受託生産は、受注拡大による前年比増収を見込む

## ● 営業利益：前回予想据え置き（前年比 +27億円）

- 細胞受託生産は、売上収益の拡大により継続的な利益貢献ステージへ
- 当期の一時費用は20億円を見込む

# 2025年3月期 通期見通し：コンポーネント事業



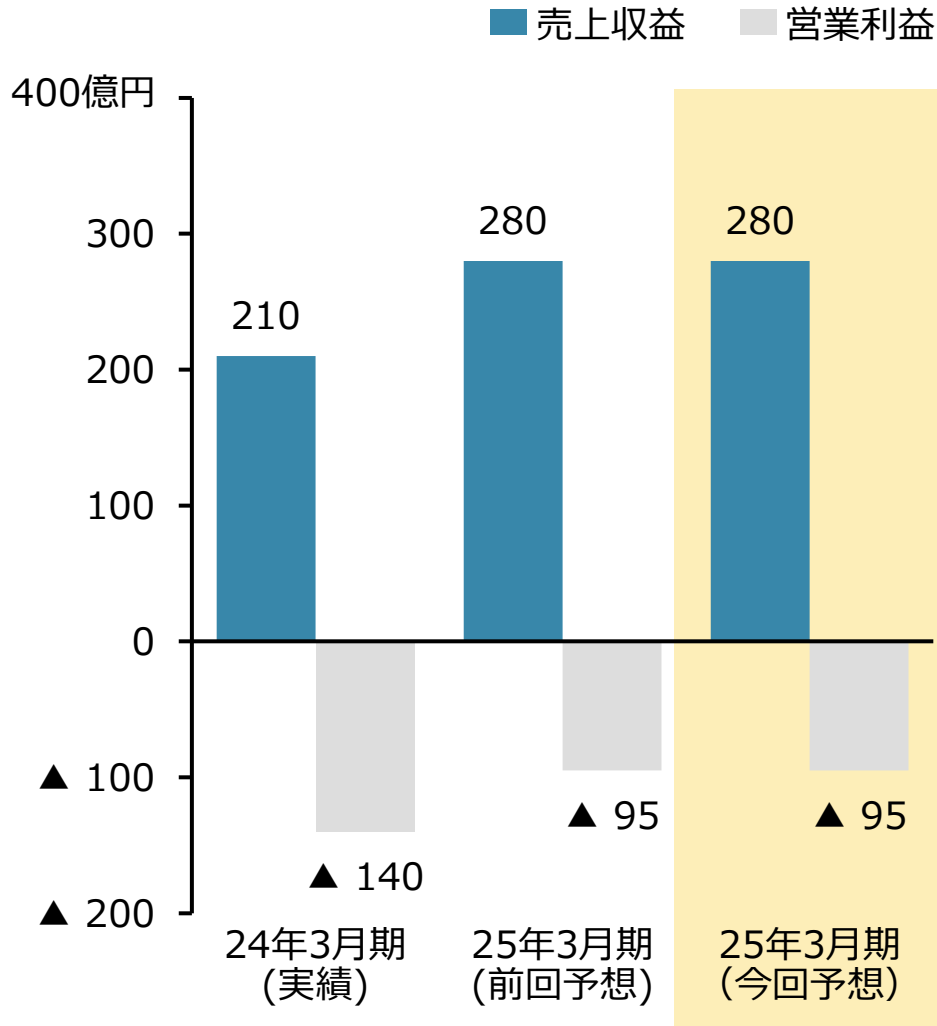
## ● 売上収益：前回予想比▲50億円（前年比 ▲129億円）

- 前回予想比では、半導体やFA市況の回復遅れにより、EUV関連コンポーネントや光学部品・光学コンポーネント、エンコーダの販売が下振れし、50億円引き下げ
- 航空宇宙向けX線/CT検査装置の販売は順調
- 光学コンポーネントは顧客拡大により順調に受注を獲得

## ● 営業利益：前回予想比▲30億円（前年比 ▲101億円）

- 前回予想比では、売上収益の修正を踏まえ、30億円引き下げ
- インダストリアルソリューションズ事業（旧産業機器事業）の構造改革は計画通り（一時費用25億円）。来期以降の営業利益の改善を狙う

# 2025年3月期 通期見通し：デジタルマニュファクチャリング事業



## ● 売上収益：前回予想据え置き（前年比 +70億円）

- 金属3Dプリンター市場は、航空宇宙・防衛産業での需要増加により、大型機を中心に拡大を予想
- SLM社の大型金属3Dプリンター（NXGシリーズ）が売上・受注を牽引。Q3受注高は四半期ベースで過去最高
- 前年比では、大型金属3Dプリンターの好調な受注を背景に増収を見込む

## ● 営業利益：前回予想据え置き（前年比 +45億円）

- 前年比では、増収効果と前年の一時費用の剥落（18億円）により、営業赤字幅は縮小
- SLM社はEBITDAベースで通期黒字を目指す

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値。セグメント変更については41ページ参照

注：25年3月期のSLM社買収に伴う無形資産償却費見込額：38億円

注：EBITDA黒字化見通し：事業全体 26年3月期、SLM社単体 25年3月期

注：営業利益黒字化見通し：事業全体 27年3月期、SLM社単体 26年3月期